

2022年10月3日、9月のリハビリテーション科全体ミーティングで行えなかった症例検討会を行いました。

内容は中村PT（関西理学療法学会発表予定）の担当患者様の歩行動作観察と歩行動作分析を行い、予測される機能障害を抽出することでした。今回からコロナ感染対策緩和により、全員でディスカッションを行いました。

発表者の中村PTからは「多くの方から質問や意見をいただいたことで視野が広くなり、今まで気付かなかったことに気付けました。」、参加のスタッフからは「中村PTがしっかりと自分の考えを述べ、患者様を治す強い思いが伝わってきました。」などの感想があり、大変有意義な勉強会であったことが伺えました。

リハビリテーション科では、患者様の能力を最大限に引き出すため姿勢や動作を詳細に分析することで問題点を絞り込み、患者様一人ひとりに合ったリハビリテーションが提供できるよう取り組んでまいります。

（文責 藤原聰）

### 【発表風景】

